農林水産省 食料産業局長賞

・般財団法人姫路市学校給食会(兵庫県姫路市(ひめじし)) ~栄養教諭等と生産者の橋渡しによる地場食材の供給~

組織概要

- ○代表者 理事長 谷田 睦
- ○所在地 兵庫県姫路市 ○構成員 消費者約35.000名等 ○活動開始年 昭和26年







受賞のポイント

- ●当給食会が中心となり、学校関係者等と出荷規格等についての調整を行い、調整した内容を生産者 に指導することで、これまで利用されていなかった地場産食材の使用量が増加し、地域の農業・水産業 の振興につながっている。
- ●栄養教諭等に対する圃場等の視察研修を定期的に実施し、地域の農林水産物について理解してもら うことにより、学校での地場産物の使用の増加につながっている。
- ●大量の地場食材を計画的・安定的に供給しており、都市部の学校給食における地産地消のモ デル的取組である。

取組内容

■取組みの経緯・成長の契機

- ・食生活の変化により、朝食を取らない子どもが増えるなど偏った食生活が問題となったこと から、平成20年に姫路市で食育推進計画が策定されたことをきっかけに、姫路市教育委員会 と連携し、地場産物の活用を一層促進することになった。
- ・姫路市では市内小中学校をグループ分けし、グループ毎に同一の献立を提供しているが、最 低でも1万食以上は同じ食材が必要となることから、必要な数量を供給するため、給食会と栄 養教諭や学校長等が卸売市場、農業者、流通業者等へ出向き、規格や梱包方法の指導、値段の 交渉等を実施。

■取組みの特徴・活動の強み

- ・地場産食材の利用拡大を図るため、卸売業者等の関係業者や学校の栄養教諭・調理師と食材 規格や出荷コンテナの統一、梱包方法等の出荷規格等について調整を行い、生産者に栽培や出 荷等の指導を行うことで、地場産物の供給量が増加。
- ・栄養教諭等に生産者のほ場等での現地研修を定期的に実施することで、地場農林水産物への 理解が深まり、学校給食における地場農林水産物の使用が増加。
- ・栄養教諭が学校給食献立作成段階に、どんな時期にどんな地場産食材が使用できるかをわか りやすくするため、品目毎に産地・月別の価格帯・出荷時期等を記載した「地産地消カレン ダー」を作成し、提供。
- ・市内89校の小中特別支援学校に、約35,000食/日もの大量の地場食材を計画的・安定的に供給。

■地域への貢献・波及効果

- ・出荷規格等の調整と併せて生産者へ栽培や出荷等の指導を行うことで、従来は学校給食用と して出荷できなかった地場農産物を出荷できるようになり、学校給食で多く使用する野菜(9) 品目)の姫路市産率(重量ベース)は平成25年度61%(平成23年度55%)に増加した。
- ・水産物についても、出荷規格等を地元漁協に指導することで円滑に納品できるようになり、 給食食材として使用する地場水産物の出荷品目数が増加し、水産業の振興につながっている。